

講義科目名称： 有機反応化学

科目コード： 51950

英文科目名称： Organic Reactions

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1・2年前期	1・2	2	選択
担当教員			
桐原 正之			
添付ファイル			

講義概要	有機反応の詳細について学習する。講義は演習形式で行う。具体的には教科書の本文は各自が自習し、演習問題を講義の時間に解いてディスカッションする。		
授業計画	1	有機化学における硫黄、ケイ素、リン ウォーレン有機化学 下 第27章	
	2	逆合成解析 ウォーレン有機化学 下 第28章	
	3	芳香族ヘテロ環化合物Ⅰ：反応 ウォーレン有機化学 下 第29章	
	4	芳香族ヘテロ環化合物Ⅱ：合成 ウォーレン有機化学 下 第30章	
	5	飽和ヘテル環化合物と立体電子効果 ウォーレン有機化学 下 第31章	
	6	環状化合物の立体選択的反応 ウォーレン有機化学 下 第32章	
	7	ジアステレオ選択性 ウォーレン有機化学 下 第33章	
	8	ペリ環状反応Ⅰ：付加環化 ウォーレン有機化学 下 第34章	
	9	ペリ環状反応Ⅱ：シグマトロピー転位と電子環状反応 ウォーレン有機化学 下 第35章	
	10	隣接基関与、転位反応、および開裂反応 ウォーレン有機化学 下 第36章	
	11	ラジカル反応 ウォーレン有機化学 下 第37章	
	12	カルベンの合成と反応 ウォーレン有機化学 下 第38章	
	13	反応機構の決定 ウォーレン有機化学 下 第39章	
	14	有機金属化学 ウォーレン有機化学 下 第40章	
	15	不斉合成 ウォーレン有機化学 下 第41章	
授業形態	演習形式をとる。 アクティブラーニング：①:回, ②:回, ③:回, ④:回, ⑤:回, ⑥:回		
達成目標	有機化学反応の機構をマスターする。		
評価方法・フィードバック	演習内容と予習状況で評価する。 ただし、成績評価「秀(S)」取得を目指す学生に対しては特別試験を行う。		
評価基準	総合成績8割以上で、特別試験成績7割以上：S 総合成績8割以上：A 総合成績7割以上：B 総合成績6割以上：C		
教科書・参考書	教科書：野依良治ら訳『ウォーレン有機化学 下 第2版』東京化学同人 参考書：野依良治ら訳『ウォーレン有機化学 上 第2版』東京化学同人		
履修条件	なし		
履修上の注意	必ず予習として教科書を読み、演習問題を解いてくること。		
準備学習と課題の内容	必ず予習として教科書を読み、演習問題を解いてくること。		
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:%, 思考・判断:%, 関心・意欲:%, 態度:%, 技能・表現:%		